

令和5年11月伊勢原市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時  
令和5年11月27日（月）午後3時40分から午後4時01分まで
- 2 開催場所  
伊勢原市役所 3階 議会全員協議会室
- 3 教育長及び委員  
教育長 山口 賢人  
委員（教育長職務代理者） 渡辺 正美  
委員 福田 雅宏  
委員 濱田 光子  
委員 桑原 公美子（欠席）
- 4 説明のために出席した職員等  
教育部長 大山 剛  
学校教育担当部長 櫻井 綾子  
歴史文化推進担当部長  
（兼）歴史文化担当課長 立花 実  
参事（兼）教育総務課長 熊澤 信一  
参事（兼）学校教育課長 守屋 康弘  
教育指導課長 嶋本 信之  
教育センター所長 田中 美和  
社会教育課長 杉山 麻里  
図書館・子ども科学館長 林 かをり
- 5 会議書記  
教育総務課係長 窪田 暁大
- 6 傍聴人  
0人
- 7 議事日程  
日程第1 前回議事録の承認  
日程第2 教育長報告  
（1）文化審議会における大山寺本堂の国登録有形文化財への答申について  
【資料1／報告者：教育総務課歴史文化担当】  
（2）令和5年度全国学力・学習状況調査における伊勢原市結果の分析について  
【資料2：教育指導課】

(3) 令和5年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼コミュニティ・スクール研修  
会について

【資料3：教育指導課】

その他

----- ○ -----  
午後 3 時 4 0 分 開会

○教育長【山口賢人】 それでは、ただいまから教育委員会議を開催いたします。

まず、教育総務課長より資料の確認をお願いいたします。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 （資料確認）

○教育長【山口賢人】 皆さん、よろしいでしょうか。

○教育長及び委員全員 （了承）

----- ○ -----  
日程第 1 前回議事録の承認

○教育長【山口賢人】 それでは、日程第 1 「前回議事録の承認」について、  
お願いします。

○教育長及び委員全員 承認

----- ○ -----  
日程第 2 教育長報告

○教育長【山口賢人】 続きまして日程第 2 「教育長報告」となります。本日は 3 件ございます。

まず 1 件目、文化審議会における大山寺本堂の国登録有形文化財への答申について、お願いします。

○歴史文化推進担当部長（兼）歴史文化担当課長【立花実】 資料 1 を御覧ください。既にこの 10 月に報道されておりますが、11 月 24 日に開催されました国の文化審議会において、大山寺本堂を国の登録文化財にすることについて答申がなされました。

大山寺は、江戸時代に隆盛を極めました「大山詣り」の最終目的地であって、国の重要文化財である鉄造の不動明王を本尊とする、本市としても重要な寺院であります。

その中で、大山寺の本堂は明治初年の廃仏毀釈後に改めて建てられた仏堂で、全国的には寺院が潰されていく時代であり、また洋風建築が増えていく時代でもありましたので、そうした中で本格的な日本建築という貴重な事例と考えられております。細かい部分では、中世から受け継がれています大山寺の宮大工、手中明王太郎が建てて、その手による彫刻が見事であるということも評価をされております。

今後についてですが、この答申を受けまして、国のほうで事務手続を行い、官

報告示によって正式に決定することになります。恐らく来年の早い時期に、正式決定と考えております。

これによりまして、本市の国登録有形文化財は設定11件となります。

以上です。

○教育長【山口賢人】 ありがとうございます。

では、今の報告につきまして、何か御意見や御質問などございましたらお願いいたします。

渡辺委員、お願いします。

○委員【渡辺正美】 大山寺本堂ということと、その中にありますお不動さんなどはどういう扱いになりますか。

○歴史文化推進担当部長（兼）歴史文化担当課長【立花実】 国の重要文化財である鉄造の不動明王、これは国の重要文化財ですのでそのままです。それから県指定の木造の不動明王もございしますが、これも県指定のままです。

今までそれを安置していた本堂については、これまで登録していなかったのですが、ここでその本堂について国の登録になるということで、それ以外のものについてはそのままということになります。

○教育長【山口賢人】 よろしいですか。

では福田委員、お願いします。

○委員【福田雅宏】 明治18年に今の本堂が建立されていますが、登録されるかどうかは年数で決まるのですか。

○歴史文化推進担当部長（兼）歴史文化担当課長【立花実】 登録文化財自体は、比較的新しい建築などについても対象にしております。指定についても、今は概ね50年経つと指定対象として検討するという形になっておりまして、新しい例では原爆ドームですとか、あれぐらいの時代のものについても、貴重なものについては指定していく形になってきております。

○委員【福田雅宏】 了解です。うち、300年前に建っているのです。でも、その当時のままじゃないから。

○歴史文化推進担当部長（兼）歴史文化担当課長【立花実】 仏教本堂につきましては、おおむね中世のものは多くが国指定になってきておりまして、日向薬師の本堂のように江戸前期のものも、大きなもの、あるいは良いものはもう国指定にほぼなっているということで、恐らく今後は江戸中期ですとか、そういうもうちょっと若い時代のものも指定対象になっていくと予想されます。

○教育長【山口賢人】 ほかにはいかがですか。

では、なければ2件目、令和5年度全国学力・学習状況調査における伊勢原市結果の分析について、お願いいたします。

○教育指導課長【嶋本信之】 令和5年度全国学力・学習状況調査における伊勢原市の調査結果についてでございます。資料2を御覧ください。

伊勢原市では、児童生徒の学力や学習状況に関し、継続的な検証・改善サイクルの確立を目的として、文部科学省平成5年度全国学力・学習状況調査を、小学6年生及び中学3年生を対象に、4月18日に実施いたしました。

内容につきましては以前説明させていただいておりますので、詳しい説明は割愛させていただきますが、教科に関する調査の結果につきましては、小中学校共に、国・県と比較して大きな差は見られなかったと認識しております。

2 ページ以降には、結果の分析や活用について記載しておりますので、改めまして御確認ください。

調査結果及び分析につきましては、今後の学校での指導や教育委員会の研修会等で活用を図ってまいりたいと考えております。

また、11 ページの「家庭にお願いしたいこと」及び「地域にお願いしたいこと」に関しましては、学校だよりや保護者会、学校運営協議会等で周知を依頼してまいります。

最後に、本資料につきましては、速やかに伊勢原市のホームページで公表する予定でございます。御承知おきください。

報告は以上でございます。

○教育長【山口賢人】  では続きまして、3 件目の令和 5 年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼コミュニティ・スクール研修会についても報告をお願いします。

○教育指導課長【嶋本信之】  続きまして、令和 5 年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼コミュニティ・スクール研修会についてでございます。資料 3 を御覧ください。

本会議は、児童生徒の健やかな育成を目指し、情報交換や協議等を通し、学校、家庭、地域及び行政の連携を図る目的で平成 14 年度に設置いたしました。

令和 4 年度より学校運営協議会を全小中学校に設置したことから、コミュニティ・スクール研修会を併せて実施しております。研修会後は、グループごとに情報交換を行いました。詳しくは資料を御覧ください。

今後も、学校、家庭、地域との連携を図り、地域と共にある学校づくりに努めてまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

○教育長【山口賢人】  ありがとうございます。

では、2 件目、3 件目の報告につきまして、何か御意見や御質問がありましたらお願いいたします。

渡辺委員、お願いします。

○委員【渡辺正美】  全国学力・学習状況調査の伊勢原の結果の分析についての部分の 1 ページ、平均正答率に関して、全国及び神奈川県と比較して大きな差が見られないと記載がありますが、何%以内が範囲内となりますか。

○教育指導課長【嶋本信之】  伊勢原市としましては、国また県の見解と同じように、前後 10% の範囲内であれば、大きな差はないというふうに考えております。

○委員【渡辺正美】  分かりました。

○教育長【山口賢人】  ありがとうございます。

ほかにかがですか。濱田委員、お願いします。

○委員【濱田光子】 この学力テストの話に出たかと思うのですが、以前の話の中で、4ページの家庭学習に関してですが、中学校のほうが明らかに、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の数字が小学校のときに比べて低いのですが、これはよしとしてというか、これが普通の姿ということで。全国平均は55%ぐらいあるのですが、これも10%の差だと考えれば大して変わらないと思うのかどうか分からないのですが、あまりにも小学校のときと差があるということは、何に起因しているのかなというところはちょっと知りたいかなと思いました。

あともう一点ですが、10ページのところで、中学校の英語の最初のところですが、「書くことに関する問題の無回答が多い傾向がある」と書いてあったのがちょっと気になったものですから、これはどういうふうに取り扱ったらいいかなのところを教えてくださいたいと思いました。

○教育長【山口賢人】 じゃあ1件目、中学校の家庭学習に関する、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」というものに対するイエスが低いのではないかとありますが、いかがでしょうか。

○教育指導課長【嶋本信之】 小学校・中学校においても、家で自分で計画を立てて勉強するという事は非常に大事なことで考えています。

この結果についてですが、まず、やはり新型コロナウイルス感染症の影響は大きかったと思っています。この令和4年度から5年度にかけて、学校の活動がコロナで行えなかったことが復活して行われるようになり、もちろん部活動に関しても通常と同じような形で行われるような形になった中で、学校が終わった後の行動パターンというのが、中学生は特に、これまでコロナ禍で体験してきたものとは違うものになったので、部活動に意識が行き過ぎてしまったのかなというふうな分析はしています。

しかしながら、やはり自分で計画を立てて、主体的に自分の学力を把握して、苦手なところであったり伸ばしたいところであったりを家で勉強していくということは大事でありますので、このことに関しては学校にも課題として、これからそういう力がつくように投げかけていきたいと思っています。

続きまして、英語に関してですが、無回答が多かったというところですが、この無回答については、これまでの調査の中でも、国語にしる、算数・数学にしる、理科にしる、記述式の回答のところは意外と伊勢原市は無回答が多かった傾向にあります。

この無回答というところは、どうして無回答が多いのか、いろいろ考えられると思うのですが、何かしらの答えを、分からないまでも書くということではなく、考えている途中で諦めてしまうということが多いのかなと。完璧な答えを書こうとして、そこを諦めてしまった、分からないとしてしまったということが多いと思いますので、その辺の、分からないながらも自分の考えを表出するという、ここまでは分かっているというところだけでも表出するというような学習の取組が必要なのではないかなと思っています。

○委員【濱田光子】 私は古い人間なので、ICT教育というのが全然自分の

中にないものですから、ICT教育というのはすばらしいものだと聞いていますが、その弊害ということはないですね。

○教育指導課長【嶋本信之】　そうですね、これまでも、ICTが入る前も、無回答は比較的多かったです。

○委員【濱田光子】　同じような傾向があった。ありがとうございます。

○教育長【山口賢人】　よろしいですか。ありがとうございます。

先ほどの、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」とは、塾とかに注力しているので、家での計画的な学習に結び付かないということはないのですか。

○教育指導課長【嶋本信之】　そこはやはり、塾などもコロナ禍を抜けた段階で復活しているので、中学生の放課後の生活が大きく、塾に行ったり部活動をやったりというところで変わっています。そこで、家庭学習というところの意識がちょっと薄れてしまったのではないかと。塾のことも、原因としては大きかったかなと考えます。

○教育長【山口賢人】　分かりました。ありがとうございました。

福田委員、お願いします。

○委員【福田雅宏】　質問の項目として、塾に行っていますかみたいな項目を増やすことはできるんですか。

○教育指導課長【嶋本信之】　全国学力調査で行っていますので。

○委員【福田雅宏】　そっちで決まっている。というのは、さっき濱田委員がおっしゃっていた4ページのほうは低下しているけれど、次の6ページの「課題の解決に向けて、自分で考えて自分から取り組んでいますか」はすごいパーセンテージが高いので、今、教育長が言ったように塾なのかなと僕は思ったので、その実態調査をもしできるのであれば、そこで比較できないかなと思ったのですが。

○教育指導課長【嶋本信之】　学校の中では、そういう活動は伊勢原市の子どもたちはよくやっているという状況は分かっていますので、それが放課後の家庭学習のほうに、ちょっと今回はつながっていない。

○委員【福田雅宏】　了解です。ありがとうございます。

○教育長【山口賢人】　ほかにはいかがでしょうか。

渡辺委員、お願いします。

○委員【渡辺正美】　全国学力・学習状況調査における生活実態の、先ほど4ページのグラフのことが出たのですが、伊勢原市で教育センターがこれまでも児童生徒の家庭での生活の在り方、学習の在り方などを、およそ10年単位で調査を行っていると思うんです。

ですから、そちらのほうも参考にされれば、この1回だけのものよりも、伊勢原の市の実態はそれでどうであるかというのが読めるのではないかと思います。

もしそういう資料がありましたら、今後出しておいていただければ。

○教育センター所長【田中美和】　今年度、家庭生活に関するアンケートをして、今、集計作業をしているところです。また結果が整いましたら、皆様に見て

いただければと思います。

- 教育長【山口賢人】 では、それがまとめ次第、お願いいたします。  
ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
では、ほかにはないようでございますので、次に進みたいと思います。

----- ○ -----

### その他

- 教育長【山口賢人】 続いて、その他でございます。委員の皆様から何かございますでしょうか。

事務局からは何かありますか。よろしいですか。

ないようですので、最後に来月の定例会の日程をお願いいたします。

- 参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 次回の定例会につきましては、12月19日の火曜日、午後2時からになります。2階の第二委員会室におきまして開催をいたしますので、よろしくをお願いいたします。

- 教育長【山口賢人】 ありがとうございます。では、時間が午後2時ということですので、いつもと違いますのでよろしくをお願いいたします。

それでは、本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

----- ○ -----

午後4時01分 閉会